

## 令和4年度 社会教育委員 第3回定例会議の概要

1. 日時	令和4年10月7日(金) 14:00～16:00
2. 場所	市役所3階 302会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】8名出席(堀口委員、飯島委員 欠席)</p> <p>【市職員】宮坂生涯学習課長、高島生涯学習係長、宮坂社会教育指導員、湯井文化課長、平原人権・男女共同参画課長、野上更埴図書館業務係長、和田教育総務課主任、山根教育総務課指導主事</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <p>1. 開会(宮坂課長)</p> <p>2. ①あいさつ(宮坂課長)</p> <p>ここ数年のコロナ禍、社会教育、生涯学習をどのように進めていくかが課題。昨年までに比べると、危機的状況からは脱却し、今年はなんとか機会を提供できている。今日は、今年度前半の各課の報告と中学校部活動の地域移行について、本日の会議の内容である。ご意見をいただき、今年度後半の社会教育の参考にしたい。</p> <p>②あいさつ(小林京子委員長)</p> <p>季節が変わってきて、やっとコロナも下火になってきた。私たちの活動もコロナと共に、何かをしなければいけない。コロナ前には戻れないが、休んではいけない。マスクをしなければいけない現在、マスクを外してもいいよといっても外せない子もいる。私たちが何をしなければいけないか、ひとりでは考えられないが、みんなで考えていきたい。</p> <p>3. 会議事項(小林京子委員長:進行)</p> <p>(1) 上半期各課事業報告について(高島係長)</p> <p>資料により上半期4月～9月までの各課事業報告。</p> <p>① 文化課(湯井課長)</p> <p>コロナ対策しながら事業を実施している。ふる里漫画館の川柳・川柳漫画コンクール選者の牧野先生がコンクール実施中ご逝去された。これまでのご尽力に感謝したい。よって、優秀句を選ぶことはせず、応募作品の作品展とする。アートまちかどでは、いす式の階段昇降機が設置され、利用していただいている。稲荷山宿・蔵し館はシロアリの損傷部分の改修、南側外壁の漆喰壁の改修を実施中。</p> <p>更埴文化会館の不適切な事務処理事案については、災害復旧工事中に確認していたスプリンクラー設備の不具合について、リスク管理にかかわる組織風土が欠如していて、組織内での情報共有、対応が遅れてしまった。安全をないがしろにし、再開館後に報告するという事態を招いたことは、市政に対する信頼を失墜するもので、会館を利用する方にご迷惑をおかけしたことを厳粛に受け止め、深く反省している。二度とこうしたことが起こらないよう、市民の信頼回復に努めたい。現在は改修工事に向け設計委託の発注業務を行っている。</p> <p>② 歴史文化財センター 資料にて</p> <p>③ 更埴図書館(野上係長)</p> <p>七夕お話を3年ぶりに屋外で実施した。ブックスタート事業も行った。デジ</p>

図書館が始まった。新しい図書館がひとつできるというふうなものである。3月6日、24時間利用でき、一部、読み上げや拡大などのバリアフリー機能がある。8月～9月の登録者数は全市町村の中で千曲市55位。貸し出し数は9位で、千曲市の皆さんは読書の熱がある。

④ 人権男女共同参画課（平原課長）

コロナ禍でも順調に事業を進めてきている。オンライン配信も活用。

⑤ スポーツ振興課

資料にて。

⑥ 生涯学習課 市公運協（高島係長）

荻原博子講演会の実施。成人式について計画推進中。

⑦ 生涯学習課（高島係長）

コロナ禍で育成会関係のみ中止したが、他の事業は順調に実施した。ハンガリー紹介イベントは、100名ほどの参加者があった。

(2) 各種研修会参加について（高島係長）

(3) 今後の事業等について（高島係長・宮坂課長）

10月22日（土）午後1時から「地域ぐるみの共有フォーラム」

山ノ内町文化センター

参加希望を募っている。

東京オリパラ・ホストタウン事業のしめくりとして、ピアノコンサートを考えている。ハンガリーと日本の二人の演奏家。

(4) 中学校部活動の地域移行について（教育総務課和田主任・山根指導主事）

・現代の部活動は、生徒・保護者の多様なニーズへの対応が難しい。

もっとやりたい子、楽しみたい子、やりたくても部がない学校。

・少子化に伴い、従来の部活動が成立しなくなってきた。

・学校という枠組みだけでは、スポーツや文化に触れられないという状況。

・部活動は法的にやらなくてはいけないものではないが、その教育的価値が大きいので教職員の献身的な努力によって支えられてきた。教職員の負担が大きい。

・学校単独では対応できない時代になりつつあり、文部科学省から地域への移行が示された。

・令和5年度から地域移行が可能な部から、月1回程度から。令和7年度にはすべての部活で休日は地域移行するのが目標。

・千曲市坂城町では、「千曲坂城クラブ」を設立してやっていく。

・クラブの仕組みについては、資料参照。千曲市・坂城町教育委員会や地域が支援していく。

・将来的には、平日の部活動も地域に。

・保険料、指導者への謝金など自己負担になっていくが、それが大きな課題である。

・部活動は学校がやって当たり前という意識はあるが、今後このようになっていくことを理解してもらい、支えてほしい。

(4) その他 (高島係長)

4. その他 (高島係長)

(1) 北信地区社会教育委員連絡協議会 第3回 理事会

令和5年1月27日(金) 於: 北信教育事務所 委員長対応

(2) 千曲市社会教育委員 第4回 定例会

令和5年2月10日(金) 於: ことぶきアリーナ会議室  
午後2時から(予定)

(3) 「社会教育委員のためのQ&A」の改訂版の配布について

社教情報No.87 会報91号の配布

長野県社会教育委員手引きについて

(4) 小林京子委員長より10月10日のイベント紹介

小林いせ子副委員長より本の紹介

「字のないはがき」「はやくはやくっていわないで」

(5) ことぶきアリーナにて、ボッチャの体験(小林委員長の指導)

【主な協議・意見・要望等】(進行: 小林京子委員長)

(○は社会教育委員の質問、▲は事務局からの答弁)

3. ー(4)に関すること

○中島委員

専門部も中学校ごとにできるのか。

▲山根指導主事

指導者と希望する生徒がいれば、できる。それぞれの専門部ごとに地区ごとにやるのであれば、班を結成してやっていく。

○児玉委員

違うところに行くときは、生徒はどうやって行くのか。

▲山根指導主事

千曲市内であれば、自転車移動。または保護者の送迎。

○中島委員

他の地区の指導者のほうがいいと思ったら、違う班のほうに参加することは可能か。

▲山根指導主事

それは避けていく方向。たとえば長野市の強いバスケットボールチームには、いろいろなところから集まっている。課題である。千曲坂城クラブは、千曲市・坂城町在住の中学生に限定して進める。指導者も千曲市・坂城町勤務か在住としていく。合同で練習をする場合を考えると、他の指導者の指導を受ける機会はある。大会にもクラブで参加できるので、どんなチームを作るかという課題も出てくるかもしれない。いろいろな考え方でやっていくものになる。

○小林京子委員長

私は、総合型スポーツクラブをやっていて、長野県スポーツ審議委員もやっている。課題として、

・この仕組みの中に総合型スポーツクラブが入っていない。

- ・平日、働いている人は4時過ぎからの部活の指導をすることが難しい。
  - ・学校の先生でないとベンチに入れないといいルールもあった。
  - ・金銭的に負担があり、お金のある人ない人で差ができてしまう。これまで以上のお金がかかりそう。
- などがある。

▲山根指導主事

ご指摘の通り。お金について可能な限り、会費が安くなるように、補助をしていただきたいと予算要求したい。総合型地域スポーツクラブと融合していければ将来的にはよいが、現状は課題が多く難しいと考えている。いろいろな形が考えられるので、市町村に合ったやりかたを見つけていきたい。総合型地域スポーツクラブのことも視野に入れていく。

○小林いせ子副委員長

指導者になる方は、グループなどで活動していると思われる。その方々は、一堂に会して一定の基準を作っていただくことが、子どもたちにとってありがたい。

▲山根指導主事

今は、協会にお願いして指導者を推薦してもらっている。教員も含めて120名ほどの指導者を確保している。指導者がいなければその競技は衰退してしまうので、可能な限り指導者をみつけている。指導者研修会を年2回開き、共通の意識で指導できるように考えている。指導者にもいろいろなタイプがおり、課題も出てくるかもしれない。

○小林京子委員長

いろいろな課題があるが、子どもたちのためにいい方向に進めてほしい。いろいろな人がやっていくことがいいと思うので、総合型も入れてもらえると、お互いによくなる。

5. 閉会（宮坂課長）